

# 法幢寺

ほうどうじ



本堂外観



本堂内陣

法幢寺は昭和六十年にこの地、滑川町（森林公園）に庫裏を建て、その一部を仮本堂として布教活動を始めました。

翌昭和六十一年七月に「宗教学法人法幢寺」として埼玉県庁より認証を受けました。

そして東京教区埼玉組の十五番目の浄土真宗本願寺派の寺として又新しい一歩を踏み出しました。

この寺の建立にあたっては、父、故小野島泰雄（熊谷円光寺）の願いが込められています。父は日頃から「埼玉県には浄土真宗のお寺が少ないので、



ぜひ寺を建てていきたい」と言っておりました。父、母、私、妻、この四人の力が合わさって、法幢寺を建立することが出来たのではないかと思います。一人が欠けてもこの寺は出来なかったのではないのでしょうか。それとも一つ忘れてはならないのが、もう一人の方、阿弥陀様の光の中で出来ていたのではないのでしょうか。

阿弥陀様に遇えてよかったと思う心、それと同じように、このお寺に遇えてよかったと思う門徒の人が一人でもいてくれたら有り難いと思いますし、このお寺を建てた意味があると思います。